

## 沿革の概要

明治	7年	竹野小学校、養国寺を借り受け開校する。
	9年	京都府竹野郡竹野尋常小学校となる。
	10年	竹野村字小坂の下に校舎を新築する。
	39年	修業年限3年の高等科を併置し、竹野尋常高等小学校と称する。
	42年	新校舎竣工（落成式4月14日）
昭和	11年	新校舎落成 総工費 53,000 余円、校舎坪数 15 アール 校土面積 114.5 アール 校歌制定 作詞 小倉 尉成氏 作曲 杉本 秀治氏
	16年	竹野尋常高等小学校と此代尋常小学校と合併し、竹野国民学校となる。
	22年	竹野村立竹野小学校と改称される。
	30年	町村合併により、丹後町立竹野小学校と改称される。
	36年	無事故無災害校として、日本安全会より表彰される。
	50年	学校統合により、此代分校が宇川小学校に統合される。
	52年	学校安全努力校として、京都府教育委員会表彰を受ける。
	53年	校舎改築
	54年	新校舎竣工（2月13日） 総工費 325,965千円 京都府教育委員会委嘱研究実践校に推薦される。（安全教育） 「わんぱくの森」山登り始まる。
	55年	学校安全教育研究発表をする。
	56年	学校安全研究校として、文部大臣表彰を受ける。
	59年	校区変更により、此代区が宇川小学校区より竹野小学校区に統合される。
	62年	京都府教育委員会より、研究実践推進校「算数科」の指定を受ける。
	平成	元年
3年		学童・生徒のボランティア活動普及事業協力校の指定を受ける。（3～5年）
4年		グラウンド拡張工事終了 開かれた学校を目指し、教育公開日の設定、地区の識者を集め教育懇談会を実施する。
6年		グラウンド周囲に桜を記念植樹する。（～7年）
7年		文部省研究指定校「ふるさと交流学習促進事業」として木津川台小学校との交流（～8年）
8年		ふるさと交流学習で木津川台小学校に行き、PTA会員宅にホームステイをする。
12年		全国豊かな海づくり大会（網野町浅茂川海岸）に5年生が参加
13年		京都府農林水産部より愛鳥モデル校の指定を受ける。（～15年） 京都地方法務局より「人権の花」運動の実施 間人小学校改築工事に伴い、9月より間人小の給食も本校給食室で調理する。
14年		学校前、国道の拡幅工事に伴い、土手の松の木を伐採
15年		丹後小・中学校音楽フェスティバルに出場（全児童）
16年		木津川台小学校との交流（6年児童が修学旅行で来町、本校5・6年児童と交流） 愛鳥モデル校の指定（2期目）（～18年）
17年	国道178号竹野地区拡幅工事が完了するとともに信号機も設置される。（3月）	